

1. 調査報告概要表

作成日 平成21年7月15日

【認知症対応型共同生活介護用】

【評価実施概要】

事業所番号	2775502418
法人名	社会福祉法人 ほのぼの会
事業所名	グループホーム桜ヶ丘
所在地	八尾市桜ヶ丘1丁目20番地 (電話) 072-945-3030
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成 21年 7月 1日

【情報提供票より】(平成 21年 4月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17年 4月 1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	26人	常勤	14人, 非常勤 14人, 常勤換算14.8人

(2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

(3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000円	その他の経費(月額)	円
敷金	有(円) 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) 無	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	370円	昼食 550円
	夕食	580円	おやつ 200円
	または1日当たり		1,700円

(4) 利用者の概要 (平成 21年 4月 1日現在)

利用者人数	17名	男性	1名	女性	16名
要介護1	3名	要介護2	5名		
要介護3	5名	要介護4	3名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 82.9歳	最低	64歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	医療法人徳洲会八尾徳洲会総合病院・堀谷診療所・医療法人東布施辻本クリニック・西岡歯科医院・野田皮膚科・井口クリニック・池田クリニック・田中のリクリニック
---------	--

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

同法人理事長は社会貢献を目的に自らの土地を提供し、社会福祉法人を設立しました。当グループホームは、理事長自らが将来入居することも想定して設計したものです。「ほのぼのとしたあたたかい家庭の雰囲気の中で、自分らしくいつまでも暮らしていく」ことを大切に運営しています。畑や公園が近く閑静な場所にありながら、駅やデパート、市役所などがすぐ近くにあるという立地条件にめぐまれています。職員は外出や入浴、おやつ作りなど、利用者の思いを大切にした支援を行い、優しく接しています。緊急時対応、応急手当については消防署から講師を招いて研修を行うなど熱心に取り組んでいます。年間行事として音楽療法や音楽コンサート等にも取り組み、サービス向上に努めています。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4) 前回の評価結果の改善点については職員会議で話し合い改善に取り組んでいます。改善した項目は以下の3項目です。①職員を育てる取り組み(研修の強化)②同業者との交流を通じた向上 ③食事を楽しむことの支援です。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 管理者は職員会議等で外部評価調査についての説明をしています。自己評価票の作成については管理者とユニットリーダーが職員の意見を聞いてまとめ、その内容を職員に提示して再確認をしています。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6) 運営推進会議ではホーム行事報告・行事予定、運営状況の報告、ボランティアの有効活用、他施設との交流、介護保険制度の改定(介護報酬改定による加算算定等)、職員の勤務変更、利用者の救急対応、家族からの発言等、多くの説明や討議が行われ、出された意見や提言等についてはホーム運営に反映しています。
	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8) 家族がホームに来られることが多く日常的なつながりがあります。家族来訪時には利用者の暮らしぶりや健康状態を報告しています。3か月に1回ホームだよりを発行し、利用者の写真等を掲載するなどして家族へ報告しています。また、体調等に変化がある場合には電話でお知らせしています。利用者の買物等、費用についてはホームで立替え払いをして、毎月請求書と領収書を送付し家族の了承を得ています。運営推進会議では家族が積極的な発言をされ、会議で出された意見は大切にしてホーム運営に活かしています。ホーム内に意見箱を設置し意見を出しやすくしています。
重点項目③	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 地域自治会に加入しています。地域の行事や催しなどのお知らせが自治会で回覧され、ホームとして参加できる内容があれば取り組んでいます。またホーム行事も地域へお知らせして参加をしてもらっています。利用者や近くの公園へ出かけ、近隣の人々と話をしたり、隣の畑で採れた作物をいただいたり、地域住民との自然な交流があります。
重点項目④	

2. 調 査 報 告 書

(部分は重点項目です)

外部	自己	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「その人らしさをいつまでも、最後まで自分らしく生活していく」を理念としながら、運営方針では「地域住民との交流のもとで～尊厳ある自立した日常生活を営むことができるように」として、地域との繋がりを重視した支援を明確にしています。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	管理者は理念をホームの総合玄関に掲示し、またパンフレットにも記載し共有しています。新規職員採用時には理念を説明し理解を促しています。また、管理者と職員は朝礼やミーティング等で理念を確認し、理念を基にした支援に取り組んでいます。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	地域自治会に加入しています。地域の行事や催しなどのお知らせが自治会で回覧され、ホームとして参加できる内容があれば取り組んでいます。またホーム行事もお知らせし地域の人に参加してもらっています。利用者と近くの公園に出かけ近隣の人々と話をしたり、隣の畑で採れた野菜や芋などをいただいたり、地域住民との自然な交流があります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	管理者は職員会議等で外部評価についての説明をしています。自己評価票の作成については管理者とユニットリーダーが職員の意見を聞いてまとめています。また、前回の評価結果の改善点については職員会議で話し合い、改善に取り組んでいます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等に付いて報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は2か月に1回、年6回の開催をしています。会議ではホーム行事報告・行事予定のお知らせ、運営状況の報告、ボランティアの有効活用、他施設との交流、介護保険制度の改定・介護報酬改定による加算算定状況、職員の勤務変更、利用者の急変と救急対応、家族からの意見等、多くの議題が討議され、討議内容についてはホーム運営に反映しています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市の高齢介護基盤推進プロジェクトチームに相談しながらホーム運営を進めてきました。今年4月からはこの組織が発展解消したため、健康福祉部各課の担当者との連携を強めていく予定です。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族来訪時には利用者の暮らしぶりや健康状態を個別に報告しています。3か月に1回ホーム便りを発行し、利用者の写真等を掲載するなどして家族へ近況報告をしています。また、体調等に変化がある場合には電話でお知らせしています。利用者の買物等についてはホームで立替え払いをして、毎月請求書と領収書を送付し家族の了承を得ています。	○	利用者の近況については毎月1回定期的に、手紙やホーム便り等で家族へ報告することが求められます。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族がホームに来られることが多く日常的なつながりがあります。運営推進会議では家族が積極的な発言をされ、会議で出された意見は大切にホーム運営に活かしています。ホーム内に意見箱を設置し、意見を出しやすくしています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員が定着するように働く環境を整える努力をしながら、離職が起きない職場を目指しています。法人内異動はありませんが、離職や新しい職員が入ることで利用者への影響が生じないように配慮しています。職員の異動については口頭で利用者・家族等にお知らせしています。今後はホームだよりや玄関等のお知らせコーナーに掲示してはいかがでしょうか。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修・内部研修を合わせて年6回以上を実施し、研修内容では認知症の接遇、緊急時対応と応急手当、感染症対策等が含まれています。受講者は職員会議やミーティングで伝達し、報告書をまとめて職員間で共有しています。今後はより多くの職員が外部研修に参加できるように取り組むことが期待されます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	市内にある同業者との個別の交流があります。職員が他のホームへ出かけ見学・体験研修を行っています。大阪認知症高齢者グループホーム協議会に加入し、研修等に積極的に参加しています。今後は市内のグループホーム（同業者）連絡会への参加が期待されます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居希望者の自宅を訪問し、これまでの生活の状況、本人や家族の希望を確認するなど細やかな対応をしています。また、持ち込まれる家具の内容や事前準備が必要なものを確認するなど、利用者が馴染める環境づくりに取り組んでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学び支えあう関係を築いている	職員は料理や家事、慣用語や物事の由来などを利用者に教えてもらうことがあります。また日常の中で職員が慰められたり、励まされたり、誕生日を祝福したり、喜怒哀楽を共にしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	利用者の気持ちを大切にされた対応を心がけています。普段の会話の中で利用者一人ひとりの意向や希望を聞き出し、その都度書きとめて支援に活かしています。意思表示が少ない利用者には表情等で察知し、希望に添うように努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者や家族の意見を反映するために事前に意向を確認しています。必要時には家族がカンファレンスに参加される場合もあります。アセスメント、モニタリングを行い、その記録を残しています。介護計画書は利用者や家族へ説明して了承サインをもらっています。ケース会議録や介護計画書は回覧して職員間で共有しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画書の見直しは3か月～6か月毎に行い、それ以外にも必要時には随時見直しを行うようにしています。定期的にモニタリングを行い、利用者の現状に即してプランを修正するなどの配慮をしています。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療機関受診時の同伴、送迎などを行っています。また、外泊時の送迎や個別の外出支援等も行っていきます。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られた、かかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	利用者がそれぞれの希望する、かかりつけ医療機関で引き続き医療が受けられるように支援しています。また、専門医との連携もあり希望者はかかりつけ医師に相談し、専門病院を受診することができます。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	「最後まで自分らしく生活していく」ことを重視し、利用者や家族の希望に添った支援をしています。重度化した場合には本人・家族・主治医・スタッフの意見を総合して対応しています。最終的には医師の指示により入院されることがほとんどですが、ターミナル支援を行ったこともあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員は利用者へ人生の先輩として接するように心がけています。また誇りやプライバシーを尊重した対応を心がけ、記録等は事務所に保管して取扱いに注意しています。職員採用時には個人情報保護についての契約書を作成しており、職員の了承サイン・押印があります。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者の意向や希望を尊重した支援を心がけています。ホームの日課等の定めはありませんが、行事やクラブ活動の参加については希望を尊重しています。また、食事やお昼寝、入浴などは利用者のペースにあわせた対応をしています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	ユニット毎に食事作りをしています。食材は専門の業者から搬送されますが、食事作りは下ごしらえ、盛り付け、配膳など、利用者それぞれが得意なこと、できることに参加しています。職員も一緒に楽しみながら食事をしています。月に数回、利用者と買い物に行き、希望に添ったおやつ作りを楽しんでいます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	日曜日以外は毎日入浴ができるように準備していますが、ほとんどの利用者が週3回程度の入浴で満足されています。希望に添って入浴剤を使い、色や匂いを楽しんだりしています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	多くの利用者が買物や散歩、外食などの外出を楽しみにされています。食事作りや洗濯物たたみ、草花の手入れや手芸など得意なことで役割を持ち日々を過ごされています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	散歩、買物、外食、地域行事への参加、ホーム戸外行事、希望の場所へ出かける個別支援、家族との外出など、一人ひとりが外出の機会を持てるように取り組んでいますが、一部外出の少ない利用者もおられ今後の課題となっています。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	ユニット玄関は自動ドアになっており、電源を入れると日常的に鍵をかけている状態になっています。職員は玄関に鍵をかけることの弊害を理解してはいますが、自動ドアを解除すれば重くて開けにくいこともあり、鍵を外すことは今後の課題になっています。	○	鍵を掛けないケアの実現を目指して、今後も工夫・検討することが求められます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	昨年は年2回の災害時避難訓練が実施できなかったことを踏まえ、今年度は年2回の災害時避難訓練を予定し、そのうち1回は消防署に協力要請中です。災害対策用として、ホーム内に食料品、飲料水の備蓄を行っています。	○	今年度は予定された通り災害時避難訓練を行うことが求められます。今年度行われる予定の避難訓練の様子は写真・ビデオ等で残しておくこと、次回の参考になるのではないのでしょうか。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事摂取量は三食ともに把握し、水分摂取量は一日を通して把握し記録しています。栄養バランスや食材の調理法については、食材配送業者によって詳細に提示されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	広い共有空間があり、食堂と居間、ソファースペースなどがゆったりと設定されています。トイレや浴室、洗面所、ベランダ等は活用しやすいように工夫しています。季節感のあるタペストリーや手作りカレンダー、観葉植物などを置いて、家庭的な雰囲気づくりに努めています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	利用者の居室入り口には季節感のある手作り作品が飾られ、木造りの名札が掛けられています。室内からは付近の畑や公園が一望でき、明るい居室になっています。利用者はテレビ、飾り棚、ドレスハンガー、タンス、家族の写真や自作の装飾品、ぬいぐるみ等を置いて、くつろいで生活されています。		